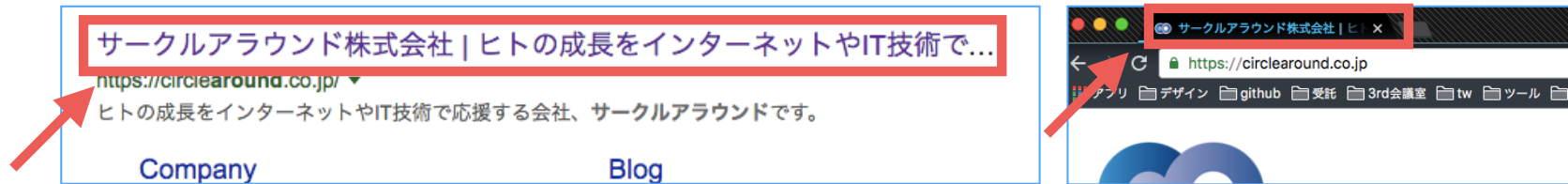


# titleタグ

titleタグはSEOを行う上で非常に重要なタグになります。このタグが重要な理由の一つは、googleがユーザに検索結果を表示する際にtitleの内容を見て、サイトの表示/非表示の制御をしていることがあります。また、以下写真の様に検索結果一覧のページで表示されるテキストもtitleタグの内容が反映されています。(文字数は30文字前後が最適と言われています)

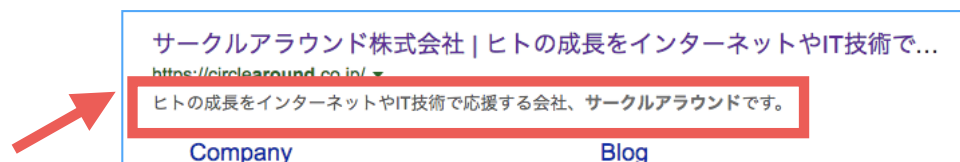


# metaタグ

metaタグはhtmlページの<head>～</head>内に記述されるそのページに関する様々な情報を記載するためのタグです。用途が多彩であるため、ここで全てはご紹介できませんが、Webページを作成する際に設定が必須なものをいくつかご紹介したいと思います。

## description

metaタグの一種でページの概要を表す情報を設定します。現在descriptionがSEOに与える影響はほとんどないと言われていますが、titleタグ同様以下の写真の様に検索結果一覧にdescriptionに設定したテキスト情報が表示されるため、設定は必須と考えて良いでしょう。



次ページに続く

# metaタグ(続き)

## keywords

keywordsはWebサイトに関連するワードを設定するためのmetaタグになります。Googleは一昔前までユーザの入力した検索ワードとkeywordsに指定したワードが一致していれば、そのWebサイトを上位に表示するロジックを採用していましたが、最近はこの仕様が変わり、ほとんど意味のないものになってしまいました。とはいえまたSEOの評価基準が変更される可能性もあるため、設定しておくのが無難といえます。

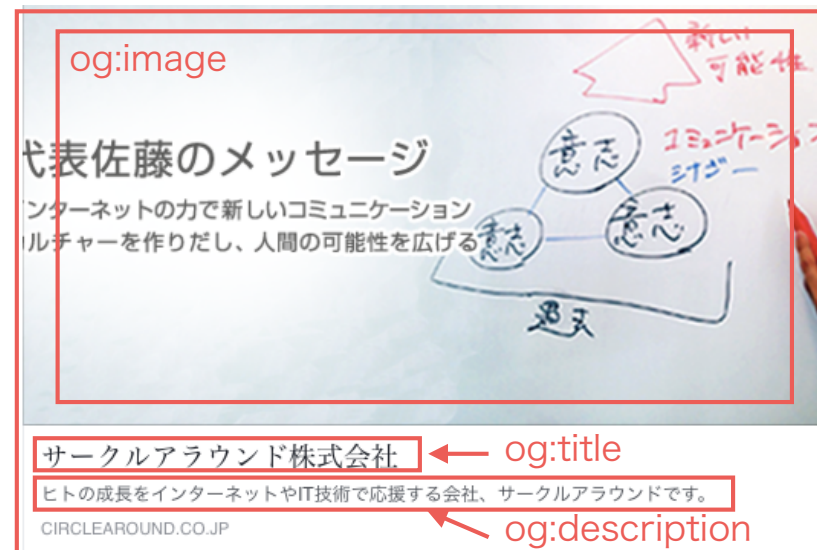
## ogp

ogpはWebサイトがSNS上(Facebook等)でシェアやいいねをされた際、ウォールに投稿される内容を設定するためのmetaタグになります。複数設定項目があるのですが、以下のように設定した場合は、右のイメージの様な形でSNSに投稿されます。

```
<meta property="og:url" content="https://circlearound.co.jp">
<meta property="og:image" content="https://
circlearound.co.jp/img/logo.png">
<meta property="og:title" content="サークルアラウンド株式会社">
<meta property="og:description" content="ヒトの成長をインターネットやIT技術で応援する会社、サークルアラウンドです。">
<meta property="og:type" content="company">
```

※ og:typeは必須項目ですが、投稿の表示内容には影響しません。(ページの種類を設定します)

og:url(投稿がクリックされた際のリンク先)



# pタグ

pタグは段落を表現するためのタグになります。pタグはひとかたまりの文章のを表すためのタグであり、改行を行うためのタグではありません。以下の様な記述はしない様に心がけましょう。

## 誤

```
<p>僕は、プログラマー。</p>
<p>JavaScriptが好きです</p>
```

## 正

```
<p>
 僕は、プログラマー。<br />
  JavaScriptが好きです
</p>
```

# strongタグ、bタグ、emタグ

strongタグ、bタグ、emタグはいずれもテキストを強調するためのタグになります。特にstrongタグはサイト内の重要なキーワードを強調するという意味合いがあり、一昔前まではSEOの検索順位にも影響を与えるタグだったのですが、昨今ではこの仕様が廃止され、strongタグがSEOに影響をあたえることはなくなりました。いずれもあまり頻繁に使用するタグではありませんが、3者の違いは以下の通りになりますので、押さえておきましょう。

※ いずれも見た目も変更するためのタグではないことを覚えておきましょう。

**strongタグ:** 囲ったワードの強調し、重要ワードであることを表す

**bタグ:** 囲ったワードを強調する

**emタグ:** 囲ったワードを強調し斜体にする

# hxタグ

hxタグとはh1、h2、h3等のhが頭に付くタグの総称になります。いずれも見出しを表すタグですが、こちらは現状もSEO的に重要視されているタグですので、hタグそれぞれの意味とルールを抑えておきましょう。

## h1

Webサイトの大見出し(サイト名等、Webサイトの内容を表すテキスト)を表現するためのタグになります。原則1ページにつき1つ設定を行います。h1の中身はテキストで設定を行うのが理想ではありますが、Webサイトのロゴ画像等でも問題はありません。(h1の中身を画像にする場合、imgタグに後述のalt属性を設定するのを忘れない様にしましょう。)

## h2

Webサイトの中身出しを表現するためのタグになります。Webサイトの項目毎のタイトルやラベル文等がこれに該当します。こちらもh1同様に中身を画像にすることも可能です。

## h3~h6

h3~h6は小見出しを表現するためのタグになります。h1、h2にも言える事ですが、複数のhxタグをサイト上で使用する上で **h1からh6まで順番に記述** を行う必要があります。

上記について次のページに例を記載します。

[次ページに続く](#)

# hxタグ続き

## h1～h6は順番に記述をする

以下の様にコードの上からh1、h2、h3と順番にhタグを記載しましょう。h1だけは1ページに1つしか登場しないため一番頭にくるhタグと認識しておけば良いのですが、h2～h6タグの様に1ページで複数回登場するhタグの順番には注意しましょう。

**誤** h1 -> h3 -> h2 -> h3 -> h2

```
<h1>ポートフォリオ</h1>
<div>
  <h3>スキル</h3>
  <h2>JavaScript</h2>
  <p>実務2年</p>
<div>
<div>
  <h3>実績</h3>
  <h2>過去に携わった案件</h2>
  <p>A社 Webサイトデザイン</p>
  <p>B社 Webサイトコーディング</p>
<div>
```

**正** h1 -> h2 -> h3 -> h2 -> h3

```
<h1>ポートフォリオ</h1>
<div>
  <h2>スキル</h2>
  <h3>JavaScript</h3>
  <p>実務2年</p>
<div>
<div>
  <h2>実績</h2>
  <h3>過去携にわった案件</h3>
  <p>A社 Webサイトデザイン</p>
  <p>B社 Webサイトコーディング</p>
<div>
```

# imgタグ

imgタグは画像を表示するためのタグであることはご存知かと思います。しかし、imgタグを記載する際にalt属性の設定が重要であること知っていますか？

```

```

src属性については画像のパスを記載する属性なので割愛しますが、altとはなんでしょうか？

alt属性とはimgで設定した画像の説明文を記載する箇所になります。

GoogleのロボットはSEOを評価する際にソースコード上の文字を見て解析を行います。つまりsrc属性だけを指定してもロボットはimgタグの画像が何を表しているのかまではわかりません。

この画像の説明をロボットに伝えるための属性がaltになります。alt属性を正しく設定することで、SEOの評価は上がるといわれているので、imgタグを記載する時は必ずalt属性の設定を忘れないようにしましょう。

# tableタグ

tableタグは表を作成するためのタグです。レイアウトのためにtableタグを使用することもあります。基本的にはサービスの料金表やプラン毎の内容など表を作成するために使用します。HTMLには、このtableタグを含め後述するdlタグやulタグ等、使い分けが難しいタグがいくつか存在します。

しかし、各タグにはそれぞれ用途が決まっているので、今後マークアップを行う際、どのタグを使用すべきかを悩むことがあれば、一度自分が実装したいものとタグの用途が合っているを考え、最適なものを選ぶ様に心がけましょう。

# ul、olタグ

ul、olタグはリストを作成するためのタグになります。両者はリストに規則性(順序)があるかどうかで使い分けをします。例えば、Webサイトに設置するサイドバーのメニュー等、順序を意識する必要がないリストはulタグを使用します。一方、olタグは表現するリストに明確な順序がある場合(目次の様に各項目の頭に番号ふる場合等)に使用します。

## dlタグ

dlタグはul、olタグと同様にリストを表すタグですが、ul、olタグとは少し毛色が異なります。dlタグ内では項目とそれに対する詳細の2セットを1項目としてリスト化します。以下の様にdtで項目を、ddで詳細を定義します。

```
<h2>プロフィール</h2>
```

```
<dl>
```

```
  <dt>氏名</dt>
```

```
  <dd>田中 和哉</dd>
```

```
  <dt>血液型</dt>
```

```
  <dd>B型</dd>
```

```
</dl>
```

dlを使用してtableタグやulタグ同様の表やリストを再現することも可能(その逆も)ですが、レイアウトを表現するために使用するHTMLタグを選定すべきではないので、dlタグもその他のタグ同様に使用する前に用途を考えることを心がけましょう。

# headerタグ

headerタグは、HTML5から新たに追加されたタグで文書やセクションのヘッダー(ナビゲーションバー等)を表します。後述sectionタグやfooterタグなど、HTML5では各セクション(Webサイトの項目)が何を表しているのかをより明確にするためのタグが追加されました。(headタグとは別物になりますので、混同しない様に気をつけましょう)

# sectionタグ

sectionタグもHTML5から追加されたタグの一つです。こちらはWebサイトの各項目を表すために使用します(ナビゲーションバー等は先ほどのheaderタグを使用します)。headerタグも合わせ以下に利用イメージを記載します。

```
<header>
<h1>ポートフォリオサイト</h1>
</header>
```

```
<section>
<h2>スキル</h2>
<p>JavaScriptが得意です</p>
</section>
```

```
<section>
<h2>実績</h2>
<p>〇〇社コーポレートサイト</p>
</section>
```

繰り返しとなりますが、HTML5では、この様に各セクションを明確にするため、headerやsection、後述のfooterタグ等を使用します。また、この他にもarticleタグの様なより項目を明確に表すためのタグも存在するのですが、ここでは割愛します。

# footerタグ

footerタグは先ほどのheader、sectionタグ同様にHTML5から追加されたタグの一つです。前述のheaderタグやsectionタグに比べると使いどころが明確で、読んで字の如くWebサイトのfooterに関する情報を包含するためのタグになります。